PRESS RELEASE

＊本報道資料は、厚生労働記者会、厚生日比谷クラブ、大阪府政記者会、
府庁薬業記者会、大阪建設記者クラブ、大阪経済記者クラブへ配布しております。

２０１３年１０月３１日

独立行政法人医薬基盤研究所
株式会社ＫＭＯ

報道関係各位

独立行政法人医薬基盤研究所の新オフィスをナレッジキャピタルに開設

独立行政法人医薬基盤研究所（大阪府茨木市、理事長：米田悦啓、以下「医薬基盤研究所」）は、グランフロント大阪の中核施設「ナレッジキャピタル」（運営：株式会社ＫＭＯ、本社：大阪市北区、代表取締役：間渕豊）内に新オフィスを開設します。

医薬基盤研究所の創薬支援戦略室は、創薬支援ネットワーク（＊1）の中核的組織として、東京に東日本統括部、大阪に西日本統括部をそれぞれ設置し、創薬研究等を経験したコーディネーターを配置して、全国の大学や研究機関等に対して、シーズの選定、技術支援の調整、製薬企業への導出等の出口戦略の策定など、探索研究から前臨床試験までの応用研究のステージを中心に、実用化を目指したシームレスな支援を行います。

今般、西日本統括部のオフィスをグランフロント大阪の中核施設「ナレッジキャピタル」内に設けることにより、研究者に対する相談・助言や製薬企業等との打ち合わせなどについて利用者の利便性の向上を図るとともに、同じく「ナレッジキャピタル」に入居している独立行政法人医薬品医療機器総合機構関西支部（PMDA-WEST）と連携し、創薬に向けたシームレスな支援体制の構築を図り、医療関連イノベーションの促進に貢献していきます。

また、医薬基盤研究所研究振興部のうち、実用化支援課（＊2）についても創薬支援戦略室とともに移転し、業務を行います。

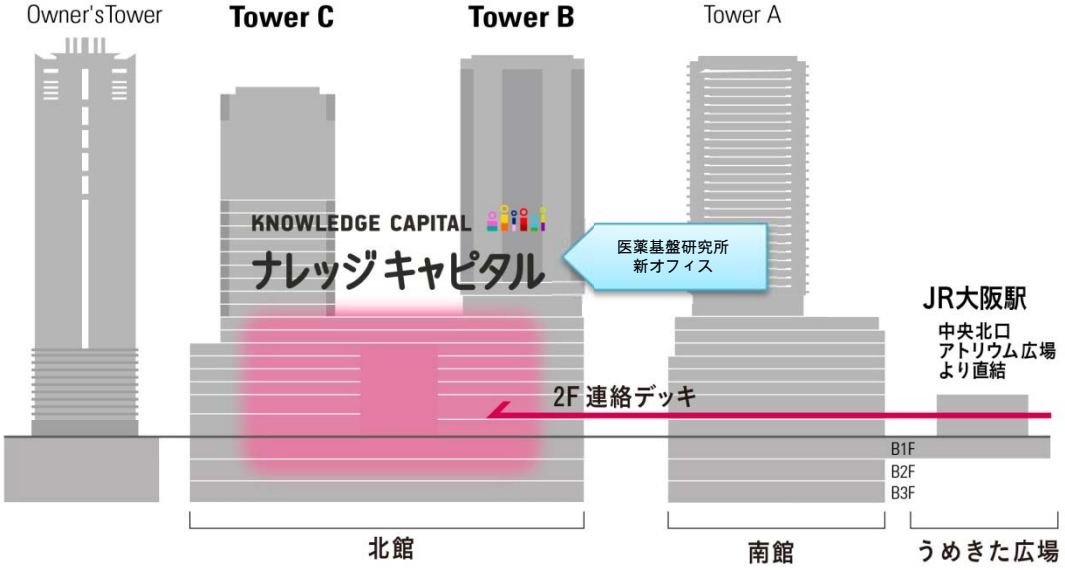
今後、医薬基盤研究所の創薬に関する情報発信や交流の拠点として活用してまいります。

〈入居概要〉

所　在　地　　〒530-0011　大阪市北区大深町３番１号　グランフロント大阪
タワーＢ１４階

営業開始日　　平成２５年１１月１日

電 話 番 号　　創薬支援戦略室　０６－６３７２－１７７１
実用化支援課　０６－６３７２－１７８８



【医薬基盤研究所について】

独立行政法人医薬基盤研究所は、革新的な医薬品などの創出に貢献し、国民保健の向上を目指して、平成１７年４月、大阪府茨木市彩都に設置されました。

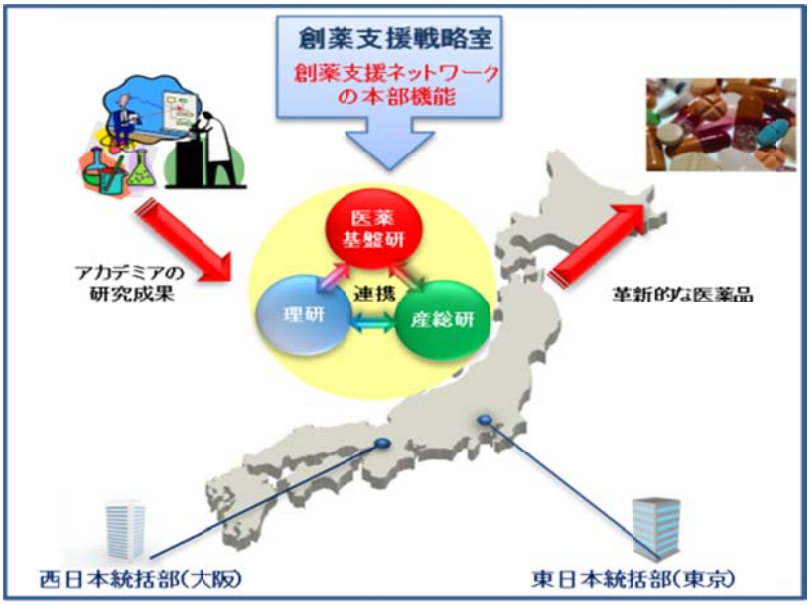
「創る、つなげる、かなえる」を研究所の理念に掲げ、①革新に挑戦し、最先端の創薬科学研究により知識を創造すること、②アカデミアと産業界をつなぐ英知の懸け橋になること、③難病を含め さまざまな患者や家族の願いをかなえる研究開発を推進することを使命とし、民間企業、大学等における新たな医薬品・医療機器開発を目指した研究開発を支援しています。

【ナレッジキャピタルについて】

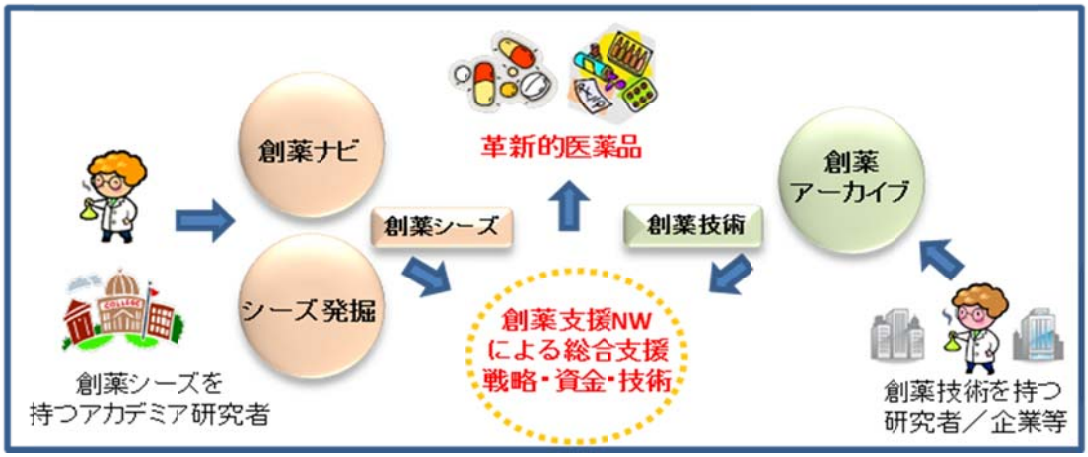
「ナレッジキャピタル」は、2013 年 4 月 26 日、JR 大阪駅北側にグランフロント大阪の中核施設として誕生しました。感性と技術の融合により新たな価値を創出する複合施設として、一般生活者から企業、研究機関、大学まで多様な人々の交わりから、今までにない商品、サービスや人材などを生み出すことを目指します。一般社団法人ナレッジキャピタルならびに株式会社 KMO がナレッジキャピタルの施設運営を担い、場［施設］と機能［人的支援］を提供し、産業創出、文化発信、国際交流、人材育成の実現を図ります。

【創薬支援ネットワーク（＊1）について】

我が国の大学や公的研究機関等で生み出された優れた研究の成果を医薬品として実用化するために、医薬基盤研究所、理化学研究所、産業技術総合研究所が中心となって、オールジャパンの創薬支援体制「創薬支援ネットワーク」が構築されました。創薬支援戦略室は、「創薬支援ネットワーク」の本部機能を担う組織として医薬基盤研究所に設置されています。



主な事業の紹介



＊創　薬　ナ　ビ…創薬研究に取り組むアカデミア研究者からの様々な相談に応じます。

＊創薬アーカイブ…全国の大学、ベンチャー、企業等が保有する創薬基盤・要素技術に関する情報を広く募り、技術情報を構築するとともに、創薬研究者への情報提供や共同研究の斡旋等を行います。

【実用化支援課（＊２）について】

保健医療の向上に役立つ画期的な医薬品・医療機器の実用化を推進するため、実用化段階の試験研究に対して、ベンチャー企業などに必要な資金を委託形式で提供する実用化研究支援事業等の業務を行っています。

【本プレスリリースに関するお問い合わせ先】
独立行政法人医薬基盤研究所　総務部総務課（吉武）Tel：072-641-9811

【ナレッジキャピタルに関するお問い合わせ先】
株式会社 KMO（古市）　Tel：06-6372-6477